

歴史から学ぶ防災2017

— 命と文化遺産とを守る —



熊野奇勝図帖(和歌山県立博物館蔵)

(熊野川河口付近)

平成30年
2月24日〔土〕

東牟婁総合庁舎 3階大会議室

新宮市緑ヶ丘2-4-8 0735-22-8551

13時30分～15時30分 報告

15時40分～ 地域防災を考えるワークショップ (希望者)



平成30年
2月25日〔日〕



熊野奇勝図帖(和歌山県立博物館蔵)

(熊野川と北山川との合流付近)

北山村村民会館

北山村大字大沼66 0735-49-2115

13時30分～15時30分 報告

15時40分～ 地域防災を考えるワークショップ (希望者)



【入場無料 申し込み不要】 【詳しい内容は裏面をご覧ください】

お問い合わせ 和歌山県立博物館 073-436-8670

主催：和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会、和歌山県立博物館、新宮市、新宮市教育委員会、北山村、北山村教育委員会

協力：和歌山県教育庁文化遺産課、和歌山県立文書館、和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議、和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山大学災害科学教育研究センター



この事業は、『平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業』によるものです。

2月24日(土) 13時30分～15時30分 東牟婁総合庁舎 3階大会議室 [報告(各20分)]

- 1 「宝永地震津波と新宮」
■ 和歌山県立博物館 主任学芸員 前田正明
- 2 「山門部材に記された安政地震津波の記憶」
■ 神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 木村修二
- 3 「石碑に刻まれた過去の土砂災害」
■ 和歌山県立文書館 主査 藤 隆宏
- 4 「熊野川流域の自主水防家屋『上がり家』とその今日的意味」
■ 和歌山大学南紀熊野サテライト 客員教授 鈴木裕範
- 5 「地域の災害史の共有により減災をめざす」
■ 減災カフェ 主宰 上野山巳喜彦

2月25日(日) 13時30分～15時30分 北山村村民会館 [報告(各20分)]

- 1 「北山村とその周辺の土砂災害の危険性」
■ 和歌山大学災害科学教育研究センター 客員教授 後 誠介
- 2 「火災を免れた仏像」
■ 和歌山県教育庁文化遺産課 副主査 三本周作
- 3 「北山村周辺地域の秋祭りとどぶろくの醸造 —その特色と技法の継承をめぐる—」
■ 和歌山大学紀州経済史文化史研究所 特任准教授 吉村旭輝
- 4 「北山村の記録と歴史災害」
■ 歴史資料保全ネット・わかやま 会員 砂川佳子
- 5 「誰にでもできる水濡れ資料の応急処置法」
■ 神戸大学地域連携推進室 特命准教授 松下正和

報告のあと、参加者との質疑応答をおこないます。報告終了後、希望者のみで地域防災を考えるワークショップをおこないます。

入場無料、申し込み不要

和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議 公開研修会

■テーマ「各地でおこなわれている文化財を守る取り組み」

2月15日(木) 13時～15時 新宮市福祉センター 1階集会室 (新宮市野田1-1, 0735-21-2760)

間刈創(三重県総合博物館) 「三重県博物館協会等による災害に対する取り組みについて」

松下正和(神戸大学) 「水損資料応急処置ワークショップ～史料の救命士」ボランティアへのお誘い」

3月14日(水) 13時～15時 和歌山市立博物館 2階講義室 (和歌山市湊本町3-2, 073-423-0003)

前田正明(和歌山県立博物館)・御船達雄(和歌山県教育庁文化遺産課)・藤本真名美(和歌山県立近代美術館)

「和歌山市寂光院の文化財緊急調査について」

岸本覚(鳥取大学) 「鳥取県中部地震の現状と被災史料への取り組み —鳥取県西部地震との比較を通じて—」



●コーナー展示「先人たちが残してくれた『災害の記憶』II」

1月27日(土)～3月4日(日) 和歌山県立博物館 (和歌山市吹上1-4-14, 073-436-8760)

県立博物館では、文化遺産課、県立文書館と連携して、地域に残る「災害の記憶」の発掘と文化遺産の所在確認調査をおこなっています。この調査では、文書や板、石碑などに「災害の記憶」を記して残そうとする先人たちの営みが明らかになりました。その成果の一部を紹介します。

同時開催 企画展「ふるさとからのおくりもの —新収蔵品展—」

●ホール展示「文化財を守る —和歌山市寂光院の襖絵—」

3月13日(火)～4月1日(日) 和歌山市立博物館 (和歌山市湊本町3-2, 073-423-0003)

庫裏の解体に伴っておこなわれた文化財緊急調査によって明らかになった襖絵などを紹介します。この調査は、和歌山市内の博物館などで文化財を担当する専門職員が連携しておこなわれました。

ご来館いただいた方で、希望される方には、小冊子(『先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝えるIV —命と文化遺産とを守るために—【新宮市・北山村】』)を無料でお渡しします。

